

軽太親綱兼用伸縮ロープ調節要領

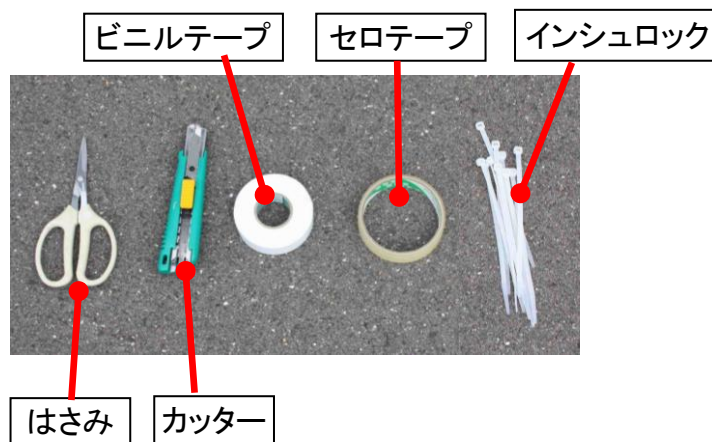
R-858-A

1. 交換前点検の実施

- ※交換前に必ず下記項目の点検を実施願います。
- ※異常が発見された場合は早急に、部品交換等の対応をお願いします。
- 1-1: 支柱及び踏ざんに変形、破損が無いか確認。
- 1-2: はしごの伸縮操作がスムーズであるか確認。
- 1-3: 安全器がスムーズに作動するか確認。
- 1-4: グリップの破損が無いか確認。
- 1-5: その他各部の破損が無いか確認。

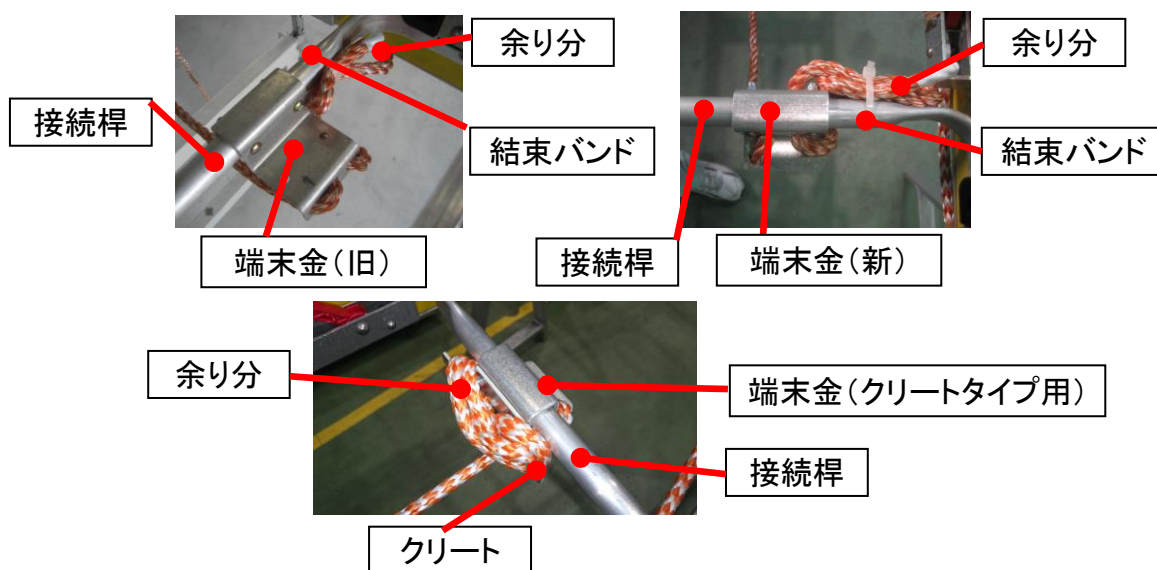
2. 必要工具

- ・カッター(はさみ)・・・1ヶ
- ・ビニルテープ・・・1ヶ
- ・セロテープ・・・1ヶ
- ・結束バンド(インシュロック)・・・1ヶ ←「クリートタイプ」の場合は必要ありません。

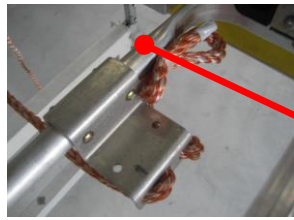


3. 親綱兼用伸縮ロープの調節要領

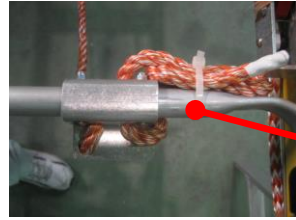
※端末金には3種類あります。結束方法につきましては、下図を参照願います。



① 端末のインシュロック(結束バンド)を切って、余り分のロープをフリーにします。
 ※クリータイプについては、この項目は不要です。



結束バンド



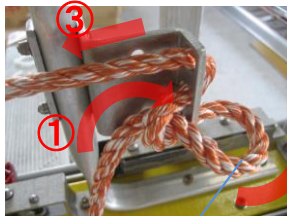
結束バンド

② 結び目をほどき、余り分のロープを送り出します。
 一定量を送り出したのち、仮固定し、余裕代を確認します。

※この段階では、ロープは仮固定となります。(クリータイプは除く)
 ※旧タイプの端末金の場合、下の写真の状態にして、端末処理を行なってください。



結び目をほどく

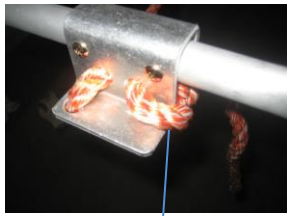


余り分のロープを送り出す

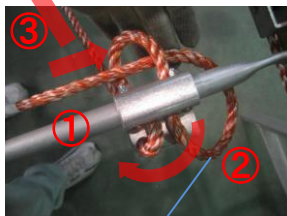


ロープを絞めて仮固定

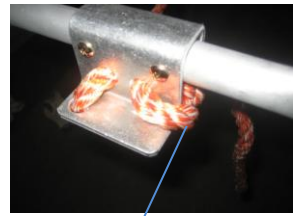
※新タイプの端末金の場合、下の写真の状態にして、端末処理を行なってください。



結び目をほどく

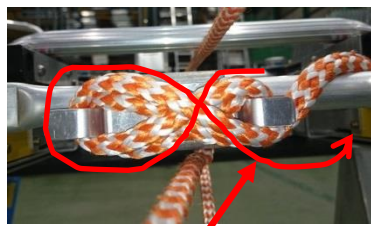


余り分のロープを送り出す



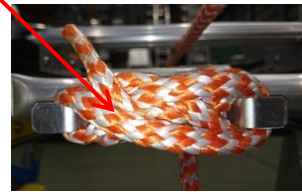
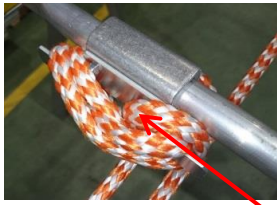
ロープを絞めて仮固定

※クリータイプの端末金の場合、下の写真の状態にして、端末処理を行なってください。



クリータイプに8の字状に数回巻き付けてください

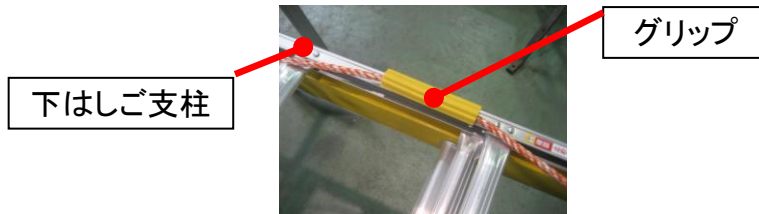
更に余ったロープは8の字状ロープに差込み



ロープ末端をクリートとロープの間に差込み

③親綱兼用伸縮ロープの張り具合を調整します。

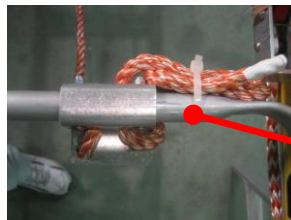
- 1) はしご縮長時に下図の様に、グリップが下はしご支柱にギリギリ乗る程度の張り具合となるように調整してください
(②の操作を繰り返し調節をお願いします)。
- 2) ゆるすぎると、滑車からロープが外れる場合がありますのでご注意ください。



④親綱兼用伸縮ロープの末端を結束します。
※クリートタイプについては、この項目は不要です。



結束バンド



結束バンド

⑤はしごを使用状態にして張り具合を確認してください。



親綱兼用伸縮ロープの再調整が必要な場合は①～④を繰り返してください。

4. 作動確認

はしごを伸長し、はしごの伸縮動作及び、安全器の作動の確認を行なってください。
※伸縮動作及び安全器の作動に異常無いか確認してください。
※安全器の作動に異常があった場合、速やかに使用を中止し、ご連絡願います。